

ヴィオラ・ダ・ガンバでバッハを II コラールとフーガ

2017年1月の第1回コンサート「プレリュードとフーガ～ヴィオラ・ダ・ガンバでバッハを」では、「平均律クラヴィーア」などのチェンバロ曲を中心に、バッハのポリフォニックな鍵盤曲をヴィオラ・ダ・ガンバの三重奏とチェンバロで演奏しました。今回は、ドイツ・プロテスタント教会の賛美歌であるコラールを中心に、バッハの受難曲やモテットの中で歌われるコラール合唱曲と、その原曲となった世俗歌曲、オルガンのためのさまざまな形式と手法によるコラール・プレリュード、そしてチェンバロのためのフーガとミサ曲口短調の合唱フーガを、ヴィオラ・ダ・ガンバ四重奏で、またチェンバロとの合奏で演奏します。



Johann Sebastian Bach



折原 麻美 おりはら あさみ
国立音楽大学在学中ヴィオラ・ダ・ガンバを始め、神戸愉樹美氏に師事。卒業後に渡欧、ブリュッセル王立音楽院古楽器科へ入学。優秀賞付きで同音楽院修士課程を、翌年に研究科を修了。リエージュ交響合唱団によるバッハ「ヨハネ受難曲」のソリストを務める。またベルギーのラジオ局の Musiq'3 祭、ミディ・ミニム音楽祭（ブリュッセル）、ユトレヒト国際古楽音楽祭などヨーロッパの主要な音楽祭に多数出演。2018年より拠点を日本に移し、5月には求道会館（東京）で帰国記念リサイタルを開催。国内外で幅広く活動を展開。www.oriharaasami.com



鬼澤 悠歌 おにざわ はるか
東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修了。ヴィオラ・ダ・ガンバを志水哲雄、福沢宏の各氏に師事。第80回読売新人演奏会に出演。大学院修了時、日本福音ルーテル東京教会にてリサイタルを行う。群馬交響楽団の定期演奏会に出演、バッハ・コレギウム・ジャパンの録音と演奏会に参加。リチエルカーレ・コンサートなど国内外のさまざまなアンサンブルに参加している。ジョーバン・バロック・アンサンブル、ガンバ・コンサート Garland のメンバー。



平松 晶子 ひらまつ あきこ
ヴァイオリンを故阿部靖氏に師事。立命館大学在学中より演奏活動を始め、大学オーケストラとブラームス、パグニーニの協奏曲を共演。また、京都でリサイタルを開く。古楽器の奏法にも興味を持ち、ヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美氏に、バロック・ヴァイオリンを赤津眞言氏に師事。



渡辺比登志 わたなべ ひとし
大学の同好会、慶応バロック・アンサンブルでチェロを始める。卒業後、ヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美氏、平尾雅子氏に師事。バッハのチェンバロ曲、オルガン曲、合唱曲を多数、ガンバ・コンサート用に編曲。



二川 陽子 にかわ ようこ
東京音楽大学チェンバロ科卒業。チェンバロを秋山陽子、オルガンを植田義子、アンサンブルを大竹尚之、通奏低音を有馬礼子の各氏に師事。1992年、日中国交正常化20周年で中国河南省に招待され演奏。2016年、ブルガリア共和国黒海沿岸の都市ヴァルナで演奏。

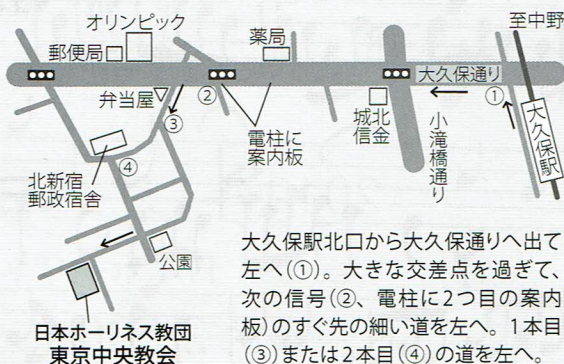
2019年1月25日(金) 18:30開場 19:00開演

日本ホーリネス教団 東京中央教会

新宿区北新宿 1-24-12 Tel. 03-3371-3674
JR総武線大久保駅 北口より徒歩8分

予約 2,500 円 / 当日 3,000 円 (全席自由)

ご予約・お問い合わせは bach.viols@gmail.com (渡辺) へ Eメールで。
コンサートの趣旨と曲目の詳細などについてはホームページ「ヴィオラ・ダ・ガンバでバッハを」(bachviols.webcrow.jp)をお読みください。



大久保駅北口から大久保通りへ出て左へ(①)。大きな交差点を過ぎて、次の信号(②)、電柱に2つ目の案内板)のすぐ先の細い道を左へ。1本目(③)または2本目(④)の道を左へ。